

<私の教育観>

教育とは、心豊かで、自ら考え行動できる力をもった人を育成すること

- * 「心豊かで」…自然、歴史、文化に親しむ、愛する、感動できる素直な心の育成。
祖国愛・郷土愛を有する。他人を思いやることができる。
- * 「自ら考え行動できる」…他人のせいにはしない自己責任。
シビックプライド（行動を含む）を有する。自己肯定感をもち。

◆背景として

少子高齢化・人口減少社会 低投票率

小諸市の低迷が続いたこと

（隣の芝生は青く見える＝自虐的。誰かのせい？人任せにしていないか？＝自己責任は？）

◆上記を実現するためには…

その一つとして、『祖国とは国語』－国語教育絶対論 資料2を参照

<参考>

第11次基本計画（2020年度策定）

【政策1】子育て・教育

- ◆目標 心豊かで自立した人が育つまち
- ◆方針 子どもたちの「学びに対する意欲や喜び」を高め、基礎学力の向上とともに、問題解決的な学習を通して、自ら考え行動できる力の育成を図り、すべての学びの場を通して「自己肯定感」の育成に努める。

こもろ未来プロジェクト教育編2020（令和2年度～令和5年度） はじめに

- ・小諸市の教育が「健康で健全な教育」であることが不可欠
- ・子どもたちや市民を取り巻く環境は刻々と変化しており、教育に対するニーズも多様化し、教育に寄せられる期待が大きくなっている
- ・教育の在り方は、将来に向けての市民一人ひとりの生き方や幸せに直結するとともに、小諸市や社会の発展の基礎をつくり、未来を決定する大変重要な問題

こもろ未来プロジェクト教育編（平成28年度～平成31年度） はじめに

- ・市の体質は市民一人ひとりの体質の集積であり、一人ひとりの体質は教育で形造られる、と考えています。その意味で小さな子どもから高齢者まで市民の一人ひとりの教育の在り方は小諸市の将来を決定する重要課題